

第1節 基本条件について

1. 基本条件の整理

次期処分場の基本条件は、表1のとおりである。

表1 基本条件の設定

項 目	内 容
埋立対象廃棄物	焼却残渣、不燃残渣、海岸漂着ごみ、災害廃棄物等
埋立容量	約 80,000 m ³ (覆土含む)
埋立面積	約 10,000 m ²
埋立期間	20 年 (想定)
浸出水処理施設	40 t / 日 (想定)
埋立形式	オープン型
敷地全体必要面積	約 30,000 m ²

第2節 適地の抽出・検討

1. 基本的な考え方

次期最終処分場の適地抽出の基本的な考え方は、以下のとおりである。

○本町全域を対象とする。第1～4段階の検討により適地抽出する。

○第1段階：除外地域の設定

土地利用に係る法規制等より「建設することが望ましくない地域」を除外地域とし設定する。

○第2段階：建設可能地域の設定

環境負荷や生活環境に配慮した、各施設（中間処理施設、主要幹線道路、文教厚生施設、市町村役場や公的集会施設、上水道水源）からの距離より、次期最終処分場の「建設可能地域」を設定する。

○第3段階：適地の抽出

第2段階で設定した「建設可能地域」から、次期最終処分場の必要面積や地形条件により、適地を抽出する。

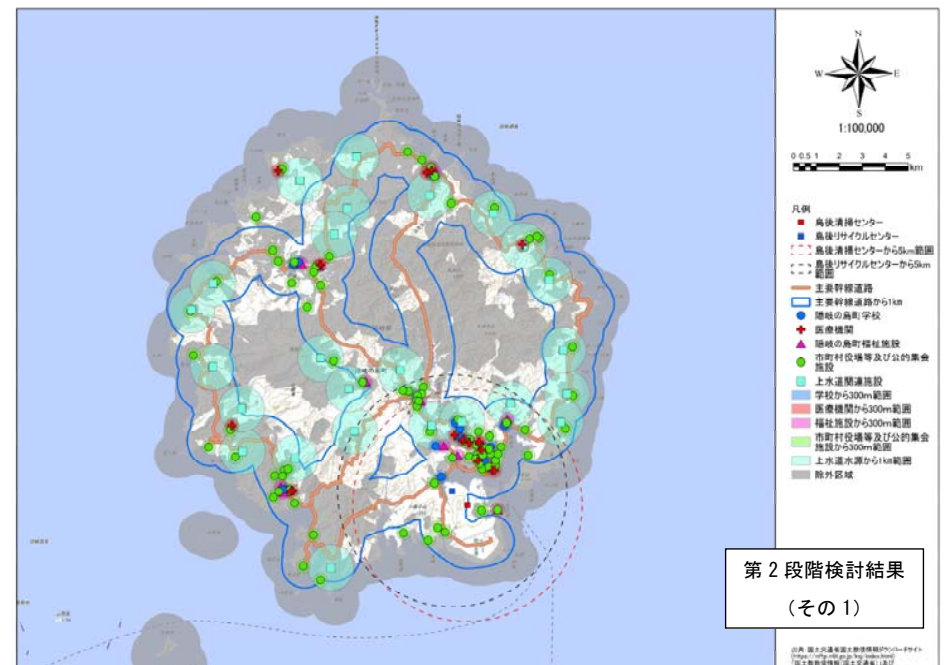
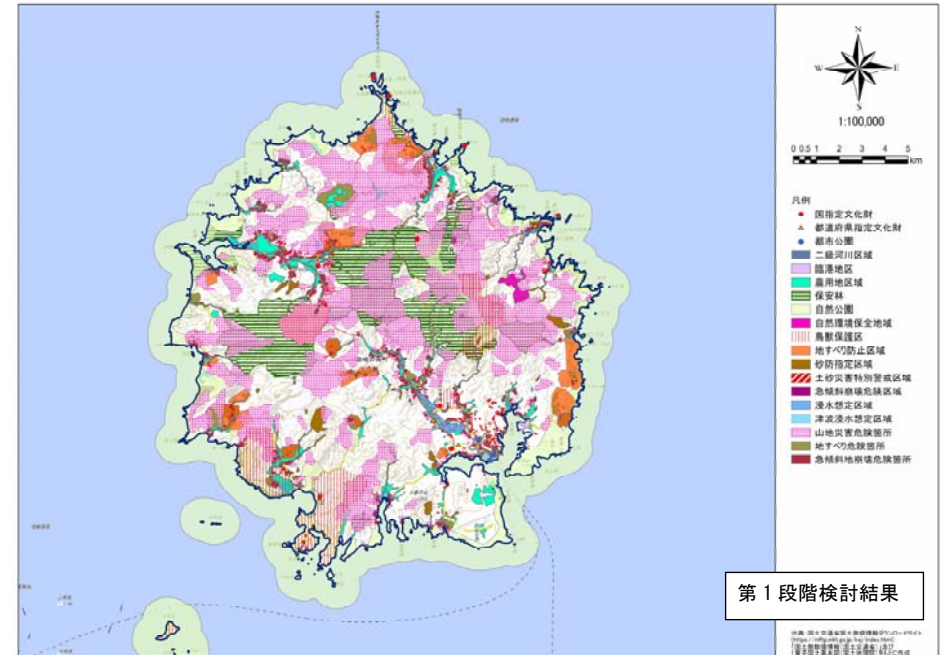
○第4段階：絞り込み

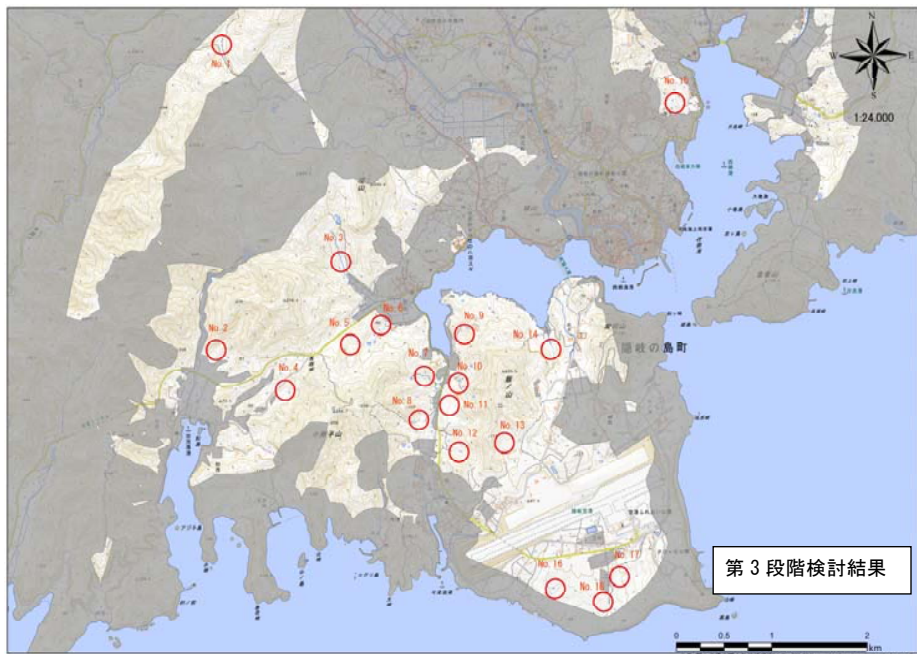
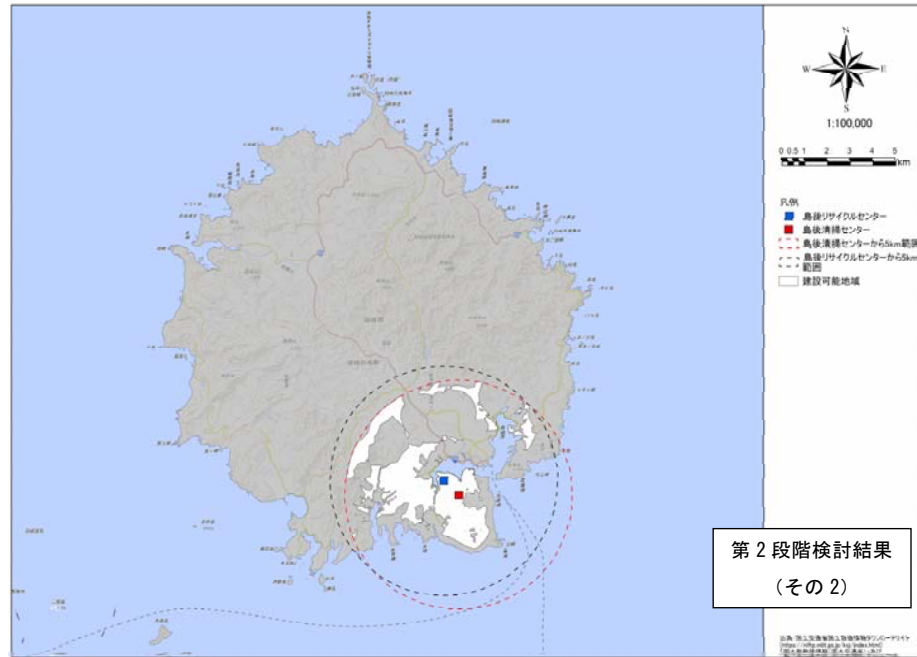
第3段階で抽出した適地から、絞り込み条件を設定し、適地の絞り込みを行う。

2. 適地の抽出検討

基本的な考え方に基づく、適地の抽出検討を実施した。

検討結果は、次図にとおりである。





3. 第4段階（絞り込み）

第4段階は、第3段階で抽出した18箇所を3箇所（No.7、No.9、No.10）に絞り込みました。

4. 現場踏査

第4段階で絞り込みを行った3箇所の現場踏査を行った。

現場踏査結果は、以下のとおりである。

